



〈地域〉と〈大学〉をつなぐ 経験値教育プログラム

Newsletter

No. 3
Oct. 2015

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
地域連携推進機構

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1
Tel:06-6429-9921 Fax:06-6422-8523
E-mail:chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp
ホームページ: <http://www.sonoda-u.ac.jp/chiiki/>

地(知)の拠点整備事業 中間報告会

2015年8月30日(日) 本学地域連携推進機構のイベントとして「地域創世と経験値教育」の題のもと開催されました。

川島明子学長(地域連携推進機構機構長)のご挨拶のあと公務のためご出席がかなわなかった尼崎市長、尼崎商工会議所会頭からのメッセージ(司会学生代読紹介)の披露がありました。基調報告は大江篤教授(副機構長)からこれまでの経過と成果について詳細なお話がありました。地域志向教育研究10プロジェクトのポスターセッションでは、各研究代表者が参加者からの質問に答えるとともに視点の違った意見から新たな方向性を見出す場面もありました。

第二部では、経験値教育学生報告として、大江ゼミの兵頭奈々さん・米山緋音さん・松原礼奈さん、地域看護学ゼミの中島彩さん・長野優美香さん・河合沙織さん、衣笠ゼミからは大林理紗さん・栗林菜央さんからそれぞれの立場

からの学修報告を、それに続くトークセッションでは上記ゼミ学生と地域連携推進機構のTA久留島先生、岡本先生が司会をされ、学生の意見を引き出してくれました。第三部では「エンターテインメントと怪異学—大学で考える忍者・妖怪」と題して三重大学教授の山田雄司先生が三重大学での事例をまじえて基調報告をなさり、斎野宮歴史博物館学芸課長の榎村寛之氏と小説家の京極夏彦氏がそれぞれの立場からご意見を述べられました。そののちパネルディスカッションでは園田学園女子大学・三重大学非常勤講師の久禮旦雄氏がコーディネーターを務めてくださり、榎村寛之氏と京極夏彦氏が山田雄司先生とともに地域における忍者と妖怪のつながりや価値観、言葉の厳密性を述べられ参加人数134名の出席を得て終わりました。今後は来年2月に地域志向教育研究10プロジェクトの2015年度報告会を開催する予定です。



大学の社会貢献

本科目の特徴は、まず大学・短期大学部に在籍するすべての学生が受講可能となっている点です。ついで、本科目は本学と尼崎市と連携している点も特徴的です。実際に、尼崎市が直面している課題に対応している尼崎市職員の方を迎え、直接講義を受けます。さらに、より広く地域の課題を捉えるために、フィールドワーク（学外講義）も併せて実施しています。2015年1学期は、歴史が多層的に組み込まれた阪急塚口駅周辺を歩くことで、現在の諸問題が地域で複雑に絡み合っていることを再確認しました。



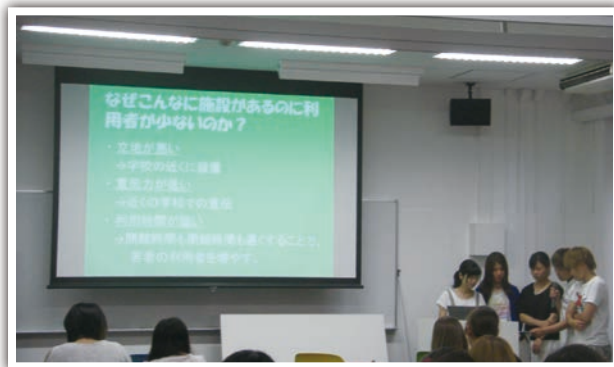
講義と自らの実見を踏まえ、諸課題とその解決策についてグループワークを行います。グループワークではそれぞれ付箋に小さなアイデアを記し、それを大きな紙面に貼り付けます。ひとしきり意見が出揃ったところで、話し合いながら、意見をグルーピングしていきます。



当初は、施設の違いや良い・悪いといった価値判断によるグルーピングが多々みられますが、グループワークの回数を重ねることで、グルーピングの基準も社会や家庭問題などに集約されるとともに、多様な価値観や異なった専門知識を学生同士が互いに引き出せるようになります。実際に受講した学生からは、「色々な意見が出て楽しかった」、

また「普段、他学部の人たちと話し合う機会がないので、とても新鮮で楽しかった」といった声をよく耳にします。

最終的には、地域の方々の前で、個々の知見を巧みに織り交ぜた成果を発表します。2015年1学期の最終発表は、「まちづくり解剖学」の一環として実施したため、市職員の方々をはじめ、学内の先生方や地域の方々に発表を聞いていただき、審査員になっていただきました。



それぞれ短期間でまとめ上げた成果であるため、審査員から事実関係の把握不足に関して手厳しい意見もありましたが、総じて、学生の「視点がユニーク」、「すばらしい発想」といった高評価をいただきました。コンペの投票結果、施設利用と学力問題改善を掛けあわせた「さんさんタウン活性化大作戦」を提唱したチームが得票1位となり、尼崎市長賞をいただきました。



—地域にある問題とは何かを追求するというのは発想があり、また日本全体での問題につながる部分への気づきもあった。—

これは、本科目を受講した一学生の声です。本科目スタイルは試行段階ですが、専門知識を教示するだけでは十分に養えないであろう、個人の<考える力>をも今後十分に引き出すことができるであろうと考えます。

企業と
コラボ

「市制100周年 記念弁当」



弁当チェーン店「ほっかほっか亭」が、尼崎市制100周年を記念して2015年10月1日（木）より販売するコラボ弁当「尼崎市100周年記念弁当（463円税抜・500円税込）」を、尼崎市内の21店舗限定で販売いたします。

「ほっかほっか亭」を運営する「株式会社ハークスレイ」が、2016年に尼崎市が市制100周年を迎えることを記念し企画されました。本学学生生協の協力のもと学生16人がレシピアイデアに応募し、食物栄養学科2年の迫水

舞さんのメニュー案が採用されました。メインは鶏肉と野菜の黒酢あかけで、尼崎市が6地区から成っているため、ニンジンやインゲンなど食材を6種類使用している、“地域の特徴（いろ）と野菜の色彩（いろ）を活かした彩り豊かなお弁当”です。

販売に先立ち、2015年10月1日（木）人間健康学部 学部長 藤原兌子先生、学生生協 理事長 垣東弘一先生、学生生協 専務理事 塩野晴也さん、食物栄養学科2年 迫水舞さんが株式会社ハークスレイ・マーケティング本部 商品部部长、次長、主任とともに尼崎市長を表敬訪問いたしました。

本学学生生協食堂でも同メニューのものを期間限定で提供いたします。どうぞご注目ください。

つな Girl

活動報告と目標

私たち「つな Girl（学生地域連携推進委員会）」は、学生会組織の中の一つです。

2014年4月に発足し、「つながって、まきこんで、楽しんで、笑顔が生まれて、またつながって」をコンセプトに、活動をしています。昨年は、つな Girl 主催のキッズフェスティバル（けやき祭同時開催）をはじめ、14のイベントを通して、52団体とつながりました。

2015年度の目標は「タテにもヨコにもつなげよう、めざせ！つながり100」です。私たちを含む園田学園女子大学内のつながりを<タテのつながり>と考え、他大学の先生や今までつながってきた地域の方々や団体などを<ヨコのつながり>とし、つな Girl は、学生と地域の方たちをつなげる役割を担いたいと思います。また私たちは、学生に積極的に地域で活動してほしいと願っています。



そうすることで、地域と学生が協力して、地域活動を企画・運営していく理想的なつながりができると思います。そして、地域と

のつながりを持った学生たちがいずれ地域の一人となったとき、地域の方々が関わってくれたように、また別の学生たちとつながっていくことで、本当の意味で「学生と地域をつなげられた」ということになると考えています。

目標に向けて

「人とのつながり」を広げることを大きな目標に活動しています。そのために、つなパラ part2 の開催や、人前で発表する機会を持つことで、つな Girl をより多くの人に知ってもらう機会をふやしていきたいと思っています。



また、同じような地域貢献をしている人たちとの交流の場へ参加していくことが大切だと考えます。そこで、同世代の人たちに視点を当て、「同じ年の人たちがどんな活動をしているのか」を知ることを目標に、そういった人たちとの交流の場を探します。

さらに、学内でのアプローチの方法がわからず、スムーズに活動できていないことが現段階での課題として挙げられているため、一般の学生も巻き込めるような「何か」を生み出すことも目標にしています。

これからもメンバーで力を合わせて、一生懸命頑張っていきますので、応援よろしく願いいたします。

まちの 相談室

相談件数

2014年度は1年間で40件の相談が寄せられました。そのうち29件はボランティアの派遣が実現し、17件が次年度に継続的に取り組む案件であり、大学と地域との連携が強まっています。2015年度は9月末までに52件の相談があり、さらに地域とつながりを深めています。

2015 地域志向教育研究 一覧表

NO	テーマ	研究代表	共同研究者	連携先
01	学校教育 タブレット端末を活用した授業における 関心・意欲・態度に関する効果測定	人間健康学部 堀田 博史教授	小田桐良一 (人間健康学部 教授)	土高 伸也 (尼崎市立教育総合センター 総括) 兒玉 崇 (尼崎市立教育総合センター 情報教育担当 指導員) 東江 潤 (尼崎市立教育総合センター 情報教育担当 指導員) 吉田 哲也 (尼崎市立名和小学校 教諭) 宮田 仁 (尼崎市立小田北中学校 教諭) 時任 隼平 (関西学院大学 専任講師) 野口 聡 (関西大学大学院大学院博士後期課程)
02	健康づくり 地域に向けた手洗い指導の拠点の構築	人間健康学部 人間看護学科 山本 恭子教授	木村 保司 (人間健康学部児童教育学科 教授) 田淵 正樹 (人間健康学部食物栄養学科 准教授) 熊谷 桂子 (人間健康学部人間看護学科 講師) 茅野 友宣 (人間健康学部人間看護学科 助教)	尼崎市中央公民館 尼崎市園田公民館 尼崎市武庫公民館 尼崎市大庄公民館 尼崎市立花公民館 尼崎市小田公民館
03	生涯学習 地域資源を活用したまちづくりモデル構築 のための基礎的研究	人間教育学部 児童教育学科 大江 篤教授	【研究分担者】 岩崎日出男 (人間健康学部総合健康学科 教授) 久禮 巨雄 (三重大学 非常勤講師) 久留島 元 (同志社大学 非常勤講師) 岡本 真生 (地域連携推進機構 TA) 【研究協力者】 今井 秀和 (蓮花寺仏教研究所 研究員)	辻川 敦 (尼崎市地域史料館 館長) 益田 日吉 (尼崎市教育委員会 歴博・文化財担当 課 長) 磯田 雅司 (杭瀬小学校区学習センター運営会議 議長) 内田 大造 (猪名寺自治会 会長)
04	子ども・ 子育て支援 地域と大学がつながり、学びあう いきいき子育て支援	人間教育学部 児童教育学科 影浦 紀子講師	新井香奈子 (人間健康学部人間看護学科 教授) 金岡 緑 (人間健康学部人間看護学科 教授) 東 晴美 (人間健康学部人間看護学科 教授) 藤澤 政美 (人間健康学部総合健康学科 教授) 江崎 和子 (人間健康学部総合健康学科 教授) 原田 句哉 (人間健康学部児童教育学科 准教授) 東本 幸代 (人間健康学部人間看護学科 助教) 黒岩 志紀 (人間健康学部人間看護学科 助手)	大前 仁哉 (尼崎市 こども青年局こども政策課 係長) 内田扶喜子 (尼崎市 こども青年局こども政策課 子育て コミュニケーションワーカー) 大江 佑花 (尼崎市 こども青年局こども政策課 子育て コミュニケーションワーカー) 有本 早希 (尼崎市 市民協同局園田地域振興センター) 鹿子木加津美 (尼崎市 市民協同局園田地域振興セン ター 主事) 竹元 恵子 (四条職学園大学 看護学部 准教授)
05	生涯学習 地域と取り組む防災教育	人間健康学部 人間看護学科 野呂千鶴子教授	大江 篤 (人間教育学部児童教育学科 教授) 山本起世子 (人間健康学部総合健康学科 教授) 宮田さおり (人間健康学部人間看護学科 准教授) 中世古恵美 (人間健康学部人間看護学科 助教) 吉田由記子 (人間健康学部人間看護学科 助教)	尼崎市 防災対策課 大庄連協 戸ノ内・東園田自主防災会 大庄地区社会福祉協議会 大庄南地域包括支援センター 園田南地域包括支援センター 武庫西地域包括支援センター 中央西地域包括支援センター
06	健康づくり 健康意識の高い町・尼崎の土台づくりと 食育の定着について	人間健康学部 食物栄養学科 餅美知子教授	松葉 真 (人間健康学部食物栄養学科 准教授) 竹本 尚未 (人間健康学部食物栄養学科 助手) 中谷 梢 (人間健康学部食物栄養学科 助手) 宮本 恵里 (人間健康学部食物栄養学科 助手) 山本 美菜 (人間健康学部食物栄養学科 助手) 岩淵 友香 (人間健康学部食物栄養学科 助手)	前田 和信 (尼崎社会福祉協議会 常務理事)
07	学校教育 庄下川の河川環境を利用した児童生徒の為 の環境学習プログラムの構築	人間健康学部 総合健康学科 衣笠 治子准教授	山本起世子 (人間健康・総合健康 教授) 近藤 照敏 (人間健康・総合健康 教授)	西村 邦子 (尼崎市役所 尼崎市立衛生研究所 所長) 松浦 秀一 (尼崎市役所 経済環境局環境保全課環境監 視センター 所長)
08	健康づくり 尼崎市に住む高齢者のための 運動交流プロジェクト開発と実践	人間健康学部 人間看護学科 林谷 啓美助教	藤澤 政美 (人間健康学部総合健康学科 教授)	グライナー智恵子 (神戸大学大学院 保健学研究科教授) 田中 諭 (Reveb 地域活動支援センター 看護師) 前田 和信 (尼崎市社会福祉協議会 常務理事) 氏丸 善行 (尼崎市社会福祉協議会 事務局長) 松村聡一郎 (尼崎市社会福祉協議会 事務局次長) 松本みゆき (尼崎市社会福祉協議会 老人福祉センター 次長) 錦 一夫 (公益財団法人尼崎健康医療財団市民健康開 発センターハーティ21 事業部 事業担 当課長) 清水美奈江 (公益財団法人尼崎健康医療財団市民健康開 発センターハーティ21 事業部健康増進事 業担当 係長) 峠 修平 (公益財団法人尼崎健康医療財団市民健康開 発センターハーティ21 事業部健康増進事 業担当 主任) 湖野 正基 (公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団 事業課長) 東間 賢一 (公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団 事業課 課長補佐)
09	生涯学習 地域日本語教育への提言 —ボランティア育成の実践と課題—	人間健康学部 吉永 尚准教授	磯田 宏子 (人間健康学部総合健康学科 准教授) 美藤 基子 (人間健康学部人間看護学科 教授) 村端 慶治 (人間教育学部 准教授) 荘司 育子 (大阪大学大学院言語文化研究科・日 日センター 准教授) 三枝 令子 (一橋大学大学院法学研究科 教授)	松岡 康治 (尼崎市国際交流協会日本語教室 日本語教 室長公開講座修了生) 大路富美子 (尼崎市国際交流協会日本語教室 前日本語 教室長) 高瀬 館長 (武庫公民館 館長) 足立栄之資 (武庫公民館日本語教室 日本語教室代表) 門田真由美 (中央公民館) 森岡 清美 (大庄公民館日本語よみかき学級 日本語よ みかき学級代表) 岡本 道子 (小田公民館 (松下館長) 日本語よみかき学 級 日本語学級委員・日本語ボランティア 公開講座修了生) 山家 朝子 (中央公民館 (松田館長) 中央日本語学級 日本語学級委員・日本語ボランティア公開 講座修了生) 桑田 和夫 (園田公民館そのだ日本語サロン 館長) 中村 大蔵 (園田苑 理事長)
10	学校教育 「地域に求められる養護教諭」養成の在り方 ～保健室ボランティア「保健室園女 (援助) 隊」の活動を通して～	人間健康学部 総合健康学科 江崎 和子教授	藤澤 政美 (人間健康学部総合健康学科 教授) 近藤 照敏 (人間健康学部総合健康学科 教授) 林 淑美 (人間健康学部総合健康学科 准教授) 磯田 宏子 (人間健康学部総合健康学科 准教授) 角田智恵美 (人間健康学部総合健康学科 准教授)	